

公益財団法人ウェスレー財団  
2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）事業報告

(A) 総務事項

1. 理事会・評議員会の開催は以下の通り開催され、審議事項はすべて承認された。

第1回理事会（定例）	2019年5月22日	2018年度事業・決算報告、 評議員会へ提案：理事1名増員（仲摩信行氏）、理事定数6名を7名へ定款変更、評議員会開催及び議案
定例評議員会	2019年6月28日	2018年度事業・決算報告、 理事定数7名へ定款変更、 仲摩信行理事就任承認
第2回理事会（臨時）	2019年9月18日	理事の職務分担（仲摩信行氏が新代表理事に、小海光氏が業務執行理事に就任）、就業規則・旅費規程
第3回理事会（臨時）	2020年1月22日	職員和解調停、2020年度支援金
第4回理事会（定例）	2020年3月17日	2020年度事業計画・予算案

2. 内閣府に以下の報告を行い、審査は完了した。

- ① 2018年度事業報告等（2019年6月28日）
- ② 2020年度事業計画等（2020年3月27日）

さらに、2019年11月28日に内閣府の立ち入り検査で2名の担当の方が来られ丸一日かけた検査が行われた。特に大きな指摘事項はなく無事終了した。

3. 元事務局長との和解調停は2019年12月17日に成立し、2020年1月末日に和解金の支払いが実行された。内容については双方の守秘義務あり。
4. 南青山5丁目住宅に居住していた2家族に対する提訴は2019年9月25日に立ち退き条件交渉の結果、和解が成立した。2020年3月31日までの明け渡しと引き換えに立ち退き料を2家族に支払った。

今後のこの土地の有効利用方法について不動産会社より提案を貰うことになっているが、新型コロナウイルスの影響で提案が遅れており、早くても提案は2020年6月末頃になる見込み。

## 5. 事務局

- ① 2019年度の職員体制は、フルタイム職員4名とパートタイム職員1名であった。
- ② フルタイム職員及び常勤役員は、月1回のスタッフミーティングを持ち、デポーションと相互の連絡調整を行った。

## (B) 公益活動状況報告

### 1. ウェスレーセンター管理事業

ビル全体を管理する南青山パークハウス・ウェスレーセンター管理組合の副理事長として井田業務執行理事が理事会に出席し、ビル全体の管理運営を行った。パークハウス・ウェスレーセンター合同の防災・防火訓練が2019年8月29日に行われた。

#### (1) 事務所賃貸運営

昨年度に引き続き、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、特定非営利活動法人国連UNHCR協会、特定非営利活動法人東京英語いのちの電話（TELL）事務所への低廉な賃貸を行った。

#### (2) ゲスト・ルーム運営

ウェスレーセンター4階（402/403号室）を関係者のゲスト・ルームとして運営した。

#### (3) 会議室運営

昨年度に引き続き、201、204、205号室を貸会議室として運営した。NPO、公益団体などの利用には低廉な料金を設定し、便宜を図っている。

## 2. 国際プロジェクト事業

2019年度は、国際プログラム3つ、国内プログラム4つの計7プログラム（ウェスレー財団主催6）並びに支援金プログラムを実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、国際プログラム2つに関しては国内での事前準備会のみの実施となり、海外でのプログラムを実施することが叶わなかった。また、国内プログラム1つはプログラムを中止することとなった。国際、国内プログラムの参加者は、大人、男女などを合わせて合計194名（職員等を除く）であった。支援金プログラムは21団体に合計9,002,086円を交付した。

### (1) 国際プログラム

#### ① サマーキャンプ in アメリカ：Youth Summer Camp in USA 7/19-7/29

参加者数：99名、うち日本から8名（高校生女子3名、男子2名、スタッフ3名）

合同メソジスト教会カリフォルニア教区が主催する高校生キャンプに参加した。キャンプに参加することにより、異文化体験を通して国際相互理解と交流をおこなうことに加えて、英会話の実践、精神面と身体の健全な成長を図ることを目的としている。今年のテーマは、“Purpose”。参加者は「アジア系アメリカ人」には多様な背景や文化があることを学ぶと同時に、キャンプでの生活や話し合い、取り組みを通じて社会的課題や対人関係の取り方、対話方法、内面を考察する方法を学んだ。ウェスレー財団からは、5校5名の高校生を派遣した。

#### ② 若い女性のためのリーダーシップ研修 in シンガポール:

##### Asian Young Women's Leadership Development in Singapore 2/12-2/18

参加者数：53名、うち日本から9名（大学生女性7名、スタッフ2名）

シンガポールメソジスト教会 Women's Service of Christian Society（メソジスト教会の女性会）Trinity Annual Conference（3つある地区の一つのグループ）との共催で若い女性のためのリーダーシップ研修をシンガポールで実施した。10か国（日本、インドネシア、シンガポール、カンボジア、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム、香港、マレーシア）から35名の女性たち（18歳～39歳）が集まり、シンガポールメソジスト教会やキリスト教団体等が実施する社会課題（高齢化社会、性産業、障害者、外国人移住労働者）への取組を視察や講義を通して学んだ。参加者は多様な文化背景のある参加者同士の交流からグローバルな視野、英会話の実践を得た。シンガポールで活躍するクリスチャン女性たちの人生の転機や信仰の歩みを聴く

機会を通し、研修テーマである「What is my purpose? (自分の人生の目的は何か)」を考える機会を多く得た。日本からは7名の大学生を派遣した。

③ **韓国（済州島）で平和を考える研修: Peace Seminar in Korea (Jeju) 2/25-2/29**

\* 韓国での研修は新型コロナウイルス感染拡大により中止

第1回準備会 1/17 参加者数：8名（大学生女性7名、スタッフ1名）

第2回準備会 2/1 参加者数：10名（講師1名、大学生女性7名、スタッフ2名）

第3回準備会 2/8 参加者数：8名（大学生女性7名、スタッフ1名）

済州島で起きた4.3事件を中心にした学びを通し、平和について考察する研修を実施する予定であったが、韓国における新型コロナウイルス感染拡大のため研修を中止した。研修に向け事前準備会を3回（1/17, 2/1, 2/8）に分けて実施。第2回事前研修には、文化センター・アリランから副理事長の宋富子氏を講師として招き、在日コリアン2世として生きてきた中で味わった差別や、その後、キリスト者として歩んでいる人生から平和を作り出すものとして生きることの大切さを学ぶ機会を得た。

④ **ワークスタディーキャンプ in the Philippines 2020 :**

**Service Work Study Camp in the Philippines 2020 3/7-3/16**

\* フィリピンでのキャンプは新型コロナウイルス感染拡大により中止

第1回目準備会 12/26 参加者数：12名（大学生女性5名、男性5名、インターン1名、スタッフ1名）

第2回目準備会 2/20 参加者数：12名（大学生女性5名、男性5名、インターン1名、スタッフ1名）

フィリピンリサール州サンマテオにある自然災害への防災に取り組む NGO を訪問し、NGO の建物の敷地と隣近所との境に壁を建設する作業の実施（昨年度から継続作業）および、リサール州にある女性センター（日本での人身取引被害にあったフィリピン女性たちの救済や、回復、支援、および日本人男性とフィリピン人女性の間生まれた子どもたちのコミュニティづくりの場所）の訪問、マニラ市街戦の跡地訪問、フィリピンのプロテスタント教会の礼拝及びカトリック教会のミサに出席することを予定し、第1回と2回の事前準備会（12/26, 2/20）を実施したが、

国内における新型コロナウイルス感染拡大のためフィリピンでのワークキャンプを実施することを中止とした。

⑤ **共催・協力プログラム**

**UB 女性リーダーのためのフォーラム：United Board for Christian Higher Education in Asia for the Women's Leadership Forum in Nanjing China**

**4/10-4/14**

参加者：48名（日本より参加者2名）

「女性リーダーのためのフォーラム：アジアの女子大学の課題と可能性を考える」は United Board for Christian Higher Education in Asia が主催し、ウェスレー財団の協力で、南京にある Ginling College（金陵女子大学）で行われた。アジア8カ国より24大学のリーダーとアメリカの女子大学協会代表、教育専門家、UB理事・スタッフを合わせ48名強の出席があった。日本からは、大阪女学院大学学長が出席。アジアにある女子大学のリーダーたちの集まりとしては初めての試みであり、互いの大学の情報交換と将来への協力作りを目的とした。

(2) 国内プログラム事業

① **セミナー／ワークショップ**

a. **リトル・ウィメンから学ぶ女性の生き方連続講座**

**第1回 6/14、第2回 6/22**

参加者数計：51名（参加者43名、講師3名、スタッフ5名）

ウェスレー財団主催の女性の生き方、キャリアの築き方を学ぶ2回連続セミナー「リトル・ウィメン（若草物語）から学ぶ女性の生き方」を行った。

第1回目は加納孝代評議員を講師として「若草物語」の原作からキリスト教の価値観、女性観等の理解を深める学び。

第2回目はミュージカル「リトル・ウィメン」の制作に携わる小嶋麻倫子氏（東宝株式会社演劇部チーフプロデューサー）及び小林香氏（演出家、脚本家、訳詞家）の2名を講師としミュージカル制作への思い、女性のキャリアの築き方等を対話を通して理解を深める学び。

**b. 「リトル・ウィメン～若草物語～」ミュージカル鑑賞 9/4、9/12、9/20**

参加者数計：27名（参加者23名、講師1名、スタッフ3名）

リトル・ウィメンから学ぶ女性の生き方連続講座（6月14日、22日に実施）の締め括りとして、第2回目の講師が制作に携わったミュージカル「リトル・ウィメン～若草物語～」を日比谷シアタークリエにて鑑賞。東宝株式会社の協力により幅広い世代に観劇の機会を提供した。

**c. サマーキャンプ in USA 2019 参加者報告会：Summer Camp Reunion 8/19**

参加者数：21名（発表者5名、参加者12名、スタッフ4名）

7/19-29 に実施したユース・サマーキャンプの参加者5名による報告会を行った。参加者同士がお互いの学びを発表し合い経験を共有した。特に参加者の家族が来場者として参加し、参加者たちの内面的な成長とキャンプの意義を知る良い機会となった。

**② 共催・協力プログラム**

**NCC 台風被災救援活動支援協力：**

**NCC in Japan for the Recovery Process of the Typhoon Victims**

台風15号、19号によって被害を受けた千葉県南房総地区に対し、日本キリスト教協議会（NCC Japan）は、その災害支援活動組織 ACT Japan Forum を通じて救援活動を行った。ウェスレー財団はその被災救援活動支援に協力した。

**① インターンシップ・プログラム：Young Adult Mission Internship Program**

**a. 国際インターンシップ・プログラム：International Internship**

合同メソジスト教会世界宣教部による、若いクリスチャン（20～30歳）を海外の様々な社会問題と取り組むNGOに派遣し、そこでの活動を通して国際関係、相互理解、リーダーシップを学ぶことを目的としたプログラムである。2019年8月より2021年5月までアジア学院へ派遣されているインターン、Yu-Rong Wang（台湾）へのサポートを行っている。

## b. ウェスレー・インターンシップ・プログラム: Domestic Internship

リーダーシップ育成を目的に、ウェスレー財団でインターンシップをおこなう機会を提供し、1名のインターンを採用した。ワークキャンプ in フィリピンに過去のプログラム参加者からインターンを1名採用した。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けフィリピンでのプログラムを実施することができなかったが、事前準備会や事前研修を通じて業務を任せることでインターン参加者のリーダーシップを発揮する機会に寄与することができた。今後も研修参加者がリーダーシップを発揮する機会として、各研修でのインターンの活用を継続するとともに、よりよいインターンシップの仕組みを策定したい。

### 3. 支援金事業

2019年度支援金事業は、23団体からの申請があり、2019年2月4日、2月6日及び2月13日に開催された支援金交付選考員会にて、21団体への交付が決定した。支援金交付額は、合計9,002,086円であった。

### 4. ウェスレーレガシー基金プロジェクト

宣教師住宅地再開発によって生まれる新たな資金による、ウェスレーレガシー基金公益活動事業計画案が、3月17日開催の第4回理事会において承認された。

これにより、2020年度は3,100万円を予算に、

(1) 助成金：社会福祉・地域開発・人道支援  
教育・人材育成支援

(2) ウェスレー財団協働プロジェクト：

アジアでの人材育成・地域発展事業 CHAD ベトナムとラオス  
インターンシップ・短期人材派遣

のプロジェクトを施行していくこととした。

公益財団法人ウェスレー財団

令和元年度事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業内容を補足する重要な事項」はない。

(以上)